

# The Women's Studies Association of Japan

発行 日本女性学会  
事務局 〒020-0124  
岩手県盛岡市厨川4丁目13番8号  
E-mail [jyoseigakkai-info@genj.jp](mailto: jyoseigakkai-info@genj.jp)  
ウェブサイト  
<https://joseigakkai-jp.org/>  
頒価 一部300円

## 学会ニュース

日本女性学会  
第160号 2024年2月

### 目次

次回大会予告……………	1	会員の著書紹介……………	3
個人研究発表・パネル報告・		会員の著書紹介募集……………	3
ワークショップ募集について……………	1	日本女性学会2024年度	
大会シンポジウム趣旨……………	2	「少額研究活動支援」対象者募集……………	3
		会費納入のお願い……………	4

### 次回大会予告 ※対面で開催の予定です

会場：武蔵大学江古田キャンパス

東京都練馬区豊玉上1-26-1

詳しいアクセスは、<https://www.musashi.ac.jp/access/access.html>をご覧ください。

#### 大会シンポジウム

#### 「女性学を継承する」

大会日程（予定） 1日目 6月8日（土）13時～16時30分（予定）

大会シンポジウム、その後総会、懇親会

2日目 6月9日（日）9時30分～15時（予定 昼食休憩を1時間ほど含みます）

個人研究発表、パネル報告、ワークショップ

### 個人研究発表・パネル報告・ワークショップ募集について

カテゴリー（個人研究発表、パネル報告、ワークショップ）を明示したうえで、以下の方法でご応募ください。

- ・個人研究発表：発表タイトル、発表者名（所属）、要旨（150字以上200字以下）
- ・パネル報告：パネルタイトル、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、各発表タイトル、各要旨（150字以上200字以下）、司会者名（所属）
- ・ワークショップ：テーマ、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、概要（150字以上200字以下）

締め切り：3月31日（日）24時

- 個人研究発表は、ひとつの分科会で、3～4人の方に発表していただけます。幹事会で発表の組み合わせと進行担当幹事を決めます。
- パネル報告は、共通するテーマの3件以上の研究発表で構成してください。公平な時間配分と十分な質疑時間の確保にご留意ください。
- ワークショップは、参加者との共同作業でテーマを発展させていく取り組みで、研究発表とは性格の異なるものです。原則として複数の発表者が分科会全体（2時間程度）を担当していただけます。
- 発表者、コーディネーター、司会は会員に限ります。応募の際にご確認ください。非会員の方は応募時にご入会ください。
- 個人研究発表・パネル報告・ワークショップをされる方で、学生、院生、OD等、常勤職についていない方には、学会より旅費の補助を行います（総額10万円を人数と距離に応じて配分しますので、補助金額は未定です）。希望される方は、報告申込の際に、その旨記載ください。

担当：三枝麻由美、西倉実季

---

## 2024 年度大会シンポジウム趣旨 「女性学を継承する」

---

シンポジスト：上野千鶴子（認定 NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク）

佐藤文香（一橋大学）

司会／コーディネーター：内藤和美・牟田和恵（日本女性学会幹事）

日本女性学会が設立されたのは、1979 年である。アメリカの諸大学で women's studies に学んだ井上輝子が賀谷恵美子らとともに「女性学」を提唱したのは 1970 年代半ばで、これが女性学会の設立につながったのである。

女性学は、既存の学問が圧倒的に男性によって担われ、男性の社会的経験に基づいて理論化・体系化されてきたことへの問題意識からはじまった。その歪みをただし、新たな方法論や概念・理論や解釈を作りあげ、性差別がどのようなものであり、どう再生産されるのかを解き明かそうとしたのである。

また、女性学は、性差別の撤廃を求めるフェミニズムの学問的表現としての歴史を持つ。日本女性学会が創設

されてから約半世紀の間、男性学が誕生し、ジェンダー研究という名称も加わり、さらにはセクシュアリティの研究、またジェンダーとのさまざまな交差を問うような多様な研究の展開がおこなわれてきた。

こうした歴史に鑑みて、いま、女性学の固有性や現代的意味を改めて問う必要があるのではないかと思われる。

シンポジウムでは、日本の女性学の創設世代の研究者として上野千鶴子、続く世代の研究者として佐藤文香に、女性学が何であり、どう継承していくべきなのかについて論じてもらう。指定討論者にも登壇いただく予定である。

## 会員の著書紹介

- 野崎綾子著『新版 正義・家族・法の構造変換ーリベラル・フェミニズムの再定位』勁草書房、2024年（松田和樹会員が第3部VIの4を執筆）
- 荒木菜穂著『分断されないフェミニズムーほどほどに、誰かとつながり、生き延びる』青弓社、2023年
- 虎岩朋加著『教室から編みだすフェミニズムーフェミニスト・ペダゴジーの挑戦』大月書店、2023年

### 会員の著書紹介募集

以下のルールで会員のみなさまの著書を紹介します。掲載で希望の方は、ニュースレター担当者までご連絡ください。

- ・会員が執筆・編集している単行本（分担執筆含む、雑誌をのぞく）
- ・1年以内の発行物
- ・ご本人の申し出があったもの
- ・寄贈は条件としない
- ・寄贈いただいたもので会員の著書と判明したもの

#### ニュースレター担当

三枝麻由美  
西倉実季

## 日本女性学会 2024 年度 「少額研究活動支援」対象者募集のお知らせ

日本女性学会では、「少額研究活動支援」により、常勤ないし正規雇用契約をもたず、研究財源の確保に困難をかかえている会員の研究活動を支援しています。下記の通り、2024年度の支給対象者を募集します。ささやかな活動ですが、ぜひ活用ください。

### 記

**内 容** 対象者の日本女性学会の趣旨に沿った活動に対し、1人あたり3万円の研究活動支援金を支給する。

**対 象** 2024年4月1日以降に常勤ないし正規雇用契約をもたない会員10名

#### 応募要件

- (1) 前年度までの会費が納入されていること
- (2) 日本女性学会会員の会費区分6,000円の者
- (3) 常勤ないし正規雇用契約下でないこと
- (4) 日本学術振興会特別研究員でないこと

ただし、本研究活動支援金の支給は一人あたり3回までとする。

**応募方法** 日本女性学会ウェブサイトにも備える応募用紙により日本女性学会事務局宛郵送

**応募締切** 2024年4月20日（土）着分まで

**詳細および応募用紙** 日本女性学会ウェブサイト「助成」のページ

<https://joseigakkai-jp.org/助成/>

\*なお、報告書の〆切は2025年6月末です。提出された報告書はホームページに掲載します。

## 会費納入のお願い

- 2023 年度の会費が未納の方は、どうぞお早めにお支払いください。会費納入のお願いと払込用紙はすでに送付しております。払込用紙をなくされた方は、郵便局備え付けの払込用紙をご利用のうえ、下記の納入先までお振込みください。

ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号 00890 - 6 - 31306

加入者名 日本女性学会

- ネットバンキングでも納入できます。

ゆうちょ銀行 支店名：089（ゼロハチキユウ） 預金種目：当座 口座番号：0031306

- 日本女性学会の会費は年収スライド制（自己申告・税込み・該当年度予定収入）をとっております。

- ・ 400 万円未満（無職・学生含む）：6,000 円
- ・ 400 ～ 600 万円未満：8,000 円
- ・ 600 万円以上：10,000 円

- 3 年以上会費を滞納されている方は退会とみなされます（日本女性学会幹事改選選挙実施規定第 4 条（3））。複数年滞納されている方は、過不足なくお支払いいただくためにもご自身の納入状況を事務局にご確認のうえ、どうか早急にお支払いください。

- 学会の運営は会員のみさんの会費によって成り立っております。重ねてのご協力をお願いいたします。

- 永年会員制度をご活用ください

2021 年度から永年会員制度が開始されました。前年度までの会費を納めている 65 歳以上の会員は、前年度会費額の 3 ヶ年分の納入によって会費完納とし、永年会員とすることができます。振り込み時に「永年会費」とお書きください。

65 歳以上の会員の皆さま、どうぞご活用ください。